

1-1. 事業概要

2015年度は、改正建築士法施行、2015年版建築物の構造関係技術基準解説書発刊、くいの施工データ偽装問題、長周期地震動対策案等、JSCA及びJSCA会員の業務に直結する事項が多い年度であった。JSCAは本部技術委員会等の協力を得つつ、会長会議を主体にこれらの事項に随時対応するとともに、必要に応じて適切なタイミングを計りE-Mail等により会員への情報提供、周知を行ってきた。また、2015年度を迎えるにあたって定めた活動方針に従い、担当委員会等で活動を行ってきた。以下では、活動方針の中で重点目標とした事項を中心に活動の概要を報告する。

1) 非構造部材の安全性確保

(1) 関係者の役割の検討および建築関係団体との協議継続

- 2014年度に行った関連6 団体との意見交換を踏まえ、賛同の得られた日本建築士会連合会及び建築設備技術者協会と共に、非構造部材の構造安全性確保に向けての提言の付表見直し及び特記仕様書例作成協議を行い、共同提案可能な内容まで煮詰めた。引き続き提言本文の見直しを行い、少なくとも3 会共同提言の形で提言、付表及び特記仕様書例を2016年度前半には公表できる見込みである。

(2) 非構造部材の安全性確保に関する情報整備および出版活動

- 上記(1)で述べた協議とは別に、非構造部材の設計及び工事監理に係る情報を整備し、主として工事監理者向けの内容であった「見落としはならない非構造部材・設備と躯体との取合い」を増補、再編集し、「設計者のための見落としはならない非構造部材」として出版した。
- 国交省住宅局建築指導課及び国総研は、2013年度に基準整備促進事業として行った実験等を基に、隙間なし天井も可能とするよう特定天井の告示を一部改正すべく、天井関連技術基準に係る検討会を立ち上げた。JSCAからは非構造部材検討特別部会から7名が検討会にオブザーバー参加し、設計者の立場から、極力使いやすい基準になる様、意見を述べた。また新・建築士制度普及協会からの委託を受けて、上記オブザーバー参加の会員に加えてメーカーからの専門家も加わる形で隙間なし天井設計例作成WGを組織し、上記検討会の指導も受けつつ、隙間なし天井の設計例を作成した。告示が公布された後に、これら設計例は告示の解説と共に公開される見込みである。

(3) 講習会等による啓蒙活動

- 上記(2)で述べた出版物をテキストとして本部、関西支部、中部支部、東北支部山形ブロックにて講習会を開催した。

2) 既存建築物の安全・安心の確保

(1) 耐震改修事例の情報交流

- 東京都「非木造建築物耐震診断等技術者育成業務」の助成を活用し、沿道建築物の耐震診断と補強の現状、同問題点及び耐震診断事例紹介等を含む研修会を、本部及び

JSCA東京の共催で開催した。

(2) 耐震診断/改修に携わる構造設計者支援

- 東京都緊急輸送道路沿道建築物の耐震化事業に協力する形で、2015年度も引き続きJSCA東京での耐震診断事務所紹介、耐震診断・補強判定委員会での耐震判定を継続した。
- 耐震診断・補強判定委員会の関西支部が大阪府より広域緊急交通路沿道建築物の耐震化等に係る指定評価機関とされ、関西支部で前年比約50%増となる64件の耐震判定を行った。

(3) 建築構造相談コーナーの運用

- 2014年3月開設の建築構造相談コーナーを2015年度も継続運用したが、電話でのやり取りで済む程度の軽微な相談を除くと、面談による相談に至ったものはなかった。

3) 性能設計に向けた活動

(1) 耐震性能設計メニューの改訂

- 性能設計部会にて耐震性能メニューの改訂案（パンフレット、解説書）を策定、技術委員会において意見交換を行い、意見を取り入れる形で内容の修正を行った。
- 2016年度には各支部において改定案の説明を行い、ブラッシュアップを図り、社会に公表する予定である。

(2) 応答制御構造の課題の検討

- 上記(1)の一部として検討したほかは、特段の検討は行わなかった。
- 機関誌structure 2015年7月号より、毎号数題の免震・制振構造に関するQ&Aの連載を行っている。

(3) 社会に向かったの広報活動

- 特段の広報活動は行わなかった。上記(1)に記したように、社会に向かったの広報活動は2016年度以降になる。

4) 職能研鑽と次世代の育成

(1) ITを活用した講習会（定期講習会等）の実施促進および委員会活動の推進

- JSCA主催の有料講習会としては初めての試みとして、WEB会議システムを活用し、東京で開催した定期講習会を受信、放映する形で北海道における定期講習会を開催した。ライセンス数にはまだ余裕があるので、希望があれば複数の支部で同様の定期講習会開催が可能であり、今後さらなる活用を促進する。
- 本部の耐震診断・補強判定委員会、編集委員会、国際委員会、建築構造士制度委員会更新部会では関西支部の関連委員会、部会と、また業務委員会では中部支部の委員と、それぞれWEB会議システムを活用して遠隔地会議（委員会）を開催した。2013年末に導入したWEB会議システムは、徐々に委員会での活用が進みつつある。

(2) 「構造デザイン発表会」および研修活動による次世代の構造設計者の職能研鑽

- 別項に記した講習会、研修会のほか、本部各委員会・部会主催の定期講習会、構造デザイン発表会、シンポジウム構造デザイン、技術委員会・報告会、木造CLT関連講習会、PC構造勉強会及び、各支部、サテライト等主催の

講習会、研修会等が開催された。詳細は活動記録の委員会及び支部活動の頁参照。

- 2007年以降、本部及び数支部で開催してきたスキルアップセミナーに関しては、建築物の構造関係技術基準解説書が2015年6月に改訂発行されたため、2015年度の開催は見送り、テキストの見直しを行い、改定版の作成を完了した。2016年度からスキルアップセミナーを再開する。

(3) 中堅・若手会員の増強

- 構造デザイン発表会での発表及びJSCA建築構造士登録は中堅・若手会員の入会の動機付けとして一定の効果があつたが、それ以外には特段の中堅・若手会員の増強につながる活動は行わなかった。2016年度の課題である。

5) 環境配慮に資する構造設計の普及・促進

(1) 環境配慮型建築に資する構造設計・技術の検討

- 地球環境委員会が建築学会ほか建設関連18 団体共同で前年度発足させた「低炭素社会推進会議」に参加し、情報収集を行うとともに、建築構造分野における環境負荷低減技術・事例の収集、調査を行ったものの、普及・促進活動を行うには至らなかった。

(2) 中・大規模木造建築の構造設計の情報整備と啓蒙活動

- 2014年度に引き続き（一社）木を活かす建築推進協議会からの依頼を受け、各支部の協力を得て「中・大規模木造建築物の構造設計地域リーダー育成研修会」に1道27 県のJSCA会員52名を推薦し、計6日間にわたる研修を受講してもらった。木造建築の普及のためには中・大規模木造の構造設計ができる技術者を養成する必要があるとの認識のもと、JSCAだけに推薦を求めてきたものである。2014・2015年度の受講者には、各都道府県における中・大規模木造の構造設計地域リーダーになることが期待されている。
- CLTに関しては、設計法や許容応力度等が整えられていなかったが、基準整備促進事業の成果を踏まえ、告示制定のためのパブリックコメント募集が2016年2月に行われ、木質系部会の協力を得て技術委員会委員長名で意見を提出した。
- 林野庁及び国交省が関与した「CLT活用連絡会」が不動産、住宅、建築関係および木造関係団体10 団体が参加する形で2016年3月2日に発足し、JSCAからは3名を委員として派遣した。この連絡会では、CLTの活用を推進するため、各種の情報交換がなされる予定である。

6) 重点目標以外の報告事項

(1) 基礎ぐい工事における杭工事ガイドライン

- 10月14日の新聞報道をきっかけに、横浜のマンションの杭工事施工データ偽装問題が発覚し、国交省が設置、学識経験者だけで構成された「基礎ぐい工事問題に対する対策委員会」での議論を経た中間報告を基に、標記ガイドライン及び施工関連の告示が2016年3月4日付で制定された。これらの内容は、E-Mailにより会員に周知した。
- 前述のガイドライン及び告示等の公表、公布に先立ち、基礎地盤系部会での検討を経て、会長及び基礎地盤系部

会主査名による「基礎ぐいに関する適正な設計・工事監理のための留意点」を、一連の動きと共にE-Mailにて会員に周知した。

- ガイドライン制定に際しては、施工及び設計関連団体からの委員による「基礎ぐい工事の工事監理に関する意見交換会」が2016年1月に組織され、JSCAからは2名の委員を派遣し、必要以上に工事監理者や構造設計者に負荷を強いることにならないよう、会長会議と連携しつつ意見を述べてもらった。
- 超高層建築物等における南海トラフ沿いの巨大地震による長周期地震動への対策案
 - 標記対策案のパブリックコメントが2015年12月18日～2016年2月29日を期間として募集された。
 - JSCAでは性能設計部会の協力を得て、会長会議で議論し、会長名で全般に係る意見を、技術委員会委員長名で技術的な内容に係る意見をそれぞれ提出した。
 - 今後、検討及び一定の周知期間を確保したうえで、時刻歴応答解析に対する業務方法書を改訂する形で対策案が実施に移される見込みである。

7) 第26回JSCA賞

2015年6月19日開催の総会における表彰式に引き続き、総会后、JSCA賞委員長からの応募作品の紹介を含む選考経過報告及び受賞記念講演会が行われた。

- 作品賞 谷川充丈：ROKI Global Innovation Center
- 作品賞 平川恭章：あべのハルカス
- 奨励賞 嘉村武浩：グランフロント大阪におけるうめきたシップと連絡デッキ
- 奨励賞 吉江慶祐：東京駅八重洲口開発グランルーフ
- 新人賞 福島孝志：羽田クロノゲート/地域貢献エリア『和の里』施設群
- 業績賞 木原碩美、山野祐司、國津博昭、樫本信隆：東京タワーの耐震レトロフィット

1-2. 役員／体制

□役員

- 会 長 森高英夫（代表理事）
- 副 会 長 金田勝徳（代表理事） 常木康弘 細澤 治
- 専務理事 福島正隆（業務執行理事）
- 常務理事 飯田直彦（業務執行理事）
- 理 事
- 本部担当 嵐山正樹 一條 典 江尻憲泰 江村 勝
- 大岡 彰 金兵秀樹 関 洋之 早野裕次郎
- 福田孝晴 前野敏元 榊田洋子 三町直志
- 横山一智
- 支部担当 北海道 向山松秀 東 北 加藤重信
- 関東甲信越 園部隆夫 中 部 二宮利治
- 関 西 小倉正恒 中 国 清水保雄
- 四 国 竹内良和 九 州 宮田俊英
- 監 事 岡本隆之祐 水津牧子 吉田 守
- 支部長 各支部担当理事が兼務

- 協会顧問 弁護士 服部成太
公認会計士 元森俊雄
- 事務局員 職員数4名(うち大阪1名)

1-3. 会員数の推移

| 年 度 末 | 正 会 員 | 一 般 会 員 | 学 生 会 員 | 賛 助 会 員 | 名 誉 会 員 | 学 術 会 員 | JSCA 建 築 構 造 士 | 構 造 設 計 一 級 建 築 士 |
|-------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|----------------|-------------------|
| 00 | 3618 | 120 | | 261 | 29 | 229 | 2527 | |
| 01 | 3618 | 127 | | 249 | 28 | 233 | 2569 | |
| 02 | 3572 | 133 | | 240 | 28 | 237 | 2561 | |
| 03 | 3551 | 139 | | 234 | 25 | 238 | 2547 | |
| 04 | 3542 | 135 | | 235 | 21 | 192 | 2536 | |
| 05 | 3606 | 147 | | 254 | 31 | 186 | 2531 | |
| 06 | 3816 | 152 | | 247 | 30 | 185 | 2692 | |
| 07 | 3907 | 154 | | 241 | 30 | 183 | 2771 | |
| 08 | 3876 | 156 | | 228 | 23 | 178 | 2696 | |
| 09 | 4000 | 144 | | 224 | 25 | 169 | 2590 | |
| 10 | 4020 | 135 | | 227 | 29 | 165 | 2457 | ※3275 |
| 11 | 3983 | 131 | | 233 | 28 | 163 | 2249 | ※3368 |
| 12 | 3925 | 131 | 6 | 230 | 28 | 157 | 2183 | ※3342 |
| 13 | 3909 | 129 | 8 | 227 | 26 | 155 | 2113 | ※3355 |
| 14 | 3929 | 134 | 7 | 231 | 25 | 151 | 2030 | ※3388 |
| 15 | 3910 | 126 | 6 | 235 | 25 | 147 | 1957 | ※3353 |

※構造設計一級建築士証の写しを添付し、本協会に届け出た会員の数である。

2-1. 総 会

□通常総会 0619

・議事

2014年度事業報告

1号議案2014年度(平成26年度)貸借対照表、正味財産増減計算書及び同附属明細書承認の件

2 // 名誉会員推薦の件

3 // 2015・2016役員選任の件

・報告事項

・公益目的支出計画実施報告書及び公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書について

・2015年度事業計画書について

・2015年度収支予算書について

・第26回JSCA賞の審査結果について

・2015年度JSCA功労者について

2-2. 理 事 会

□第1回 0430(通信)

議事 正会員入会申込者の承認について/一般会員入会申込者の承認について/賛助会員入会申込者の承認について

□第2回 0604

議事 入会申込者承認(含・会員数等報告)/2015年度収支予算書の一部変更/総会に付議すべき事項(総会資料)の決議/委員長交代/その他

報告 改正建築士法に伴うJSCA構造設計・監理業務委託契約書、契約約款の改訂報告/2015年度第1～2回運営会議議事録/委員会報告/その他

□第3回 0619

議事 会長の選定/副会長の選定/代表理事の選定/専務理事、常務理事の選定、及び、専務理事、常務理事の業務執行理事就任/2015年度体制・組織図

□第4回 0731(通信)

議事 正会員入会申込者の承認について/一般会員入会申込者の承認について/賛助会員入会申込者の承認について/JSCA名誉構造士の承認について

□第5回 0930(通信)

議事 正会員入会申込者の承認について/一般会員入会申込者の承認について/賛助会員入会申込者の承認について

□第6回 1118

議事 入会申込者承認(含・会員数等報告)/JSCA名誉構造士称号付与承認/ノエル破産によるレビュー費用貸倒処理/マンション杭等の不具合対応について(意見交換)/その他

報告 2015年度第3～6回運営会議議事録/業務の執行状況報告/上期会計報告/委員会報告/その他

□第7回 0201(通信)

議事 正会員入会申込者の承認について

□第8回 0323

議事 入会申込者承認(含・会員数等報告)/JSCA名誉構造士
称号付与承認/JSCA功労者称号付与承認/2016年度事業
計画承認/2016年度予算承認/JSCA建築構造士リーフレ
ットの件/その他

報告 2015年度第7回～第9回運営会議議事録/業務の執行状
況報告/パブリックコメント提出報告/委員会報告/そ
の他

2-3. 監事会

監査 0601

2-4. 運営会議

□第1回 0423
議事 2014年度事業報告/名誉会員の推薦候補/ JSCAの建築
構造設計・監理業務委託契約書の見直し案/その他

報告 会長会議メモ/札幌市の小学校改築プロポにおけるJ5
資格活用事例報告/委員会報告/その他

□第2回 0521
議事 2015年度総会資料(事業報告、決算資料等)の確認及
び収支予算書の一部変更/JSCAの建築構造設計・監理
業務委託契約書の見直し案/その他

報告 会長会議メモ/委員会報告/その他

□第3回 0619
議事 委員長の承認

□第4回 0729
議事 その他

報告 会長会議メモ/委員会報告(本年度活動計画等)/広報委
員会パンフレットアンケート報告/法制委員会建築基
準法等の問題点と制度としてのあるべき姿/その他

□第5回 0930
議事 その他

報告 会長会議メモ/広報委員会パンフレットアンケート報
告/法制委員会建築基準法等の問題点と制度として
のあるべき姿/委員会報告/その他

□第6回 1029
議事 その他/杭の件に関する見解発表について

報告 会長会議メモ/2015年度上期決算報告(本部速報)/委
員会報告/その他

□第7回 1216
議事 会費滞納による年度末会員資格喪失予定者について/
その他

報告 会長会議メモ/基礎ぐい工事問題について/委員会報告
/次年度年間スケジュール案/その他

□第8回 0120
議事 一般会員から正会員への移行/長周期地震動に関する
パブリックコメントについて/その他

報告 会長会議メモ/基礎ぐい工事問題について/委員会報告
/次年度年間スケジュール案/その他

□第9回 0224
議事 2016年度活動計画/2016年度本部予算/功労者候補/基

礎ぐいに関する留意点の会員周知/長周期地震動に
関するパブリックコメント/その他

報告 会長会議メモ/委員会報告/その他

2-5. 支部長会議

□第1回 0604
議題 前回議事録の確認/支部からの報告/中高層木造建築物
等の構造設計に係る担い手育成事業/その他

□第2回 1118
議題 前回議事録の確認/支部からの報告/建築基準法等の問
題点と制度としてのあるべき姿/マンション杭等の不
具合対応について(意見交換)/その他

□第3回 0323
議題 前回議事録の確認/支部からの報告/建築基準法等の問
題点と制度としてのあるべき姿/性能設計資料に関す
る意見交換会/JSCA構造設計賠償責任保険説明会/そ
の他

2-6. 会長会議

・会議 0408 0513 0611 0708 0729 0805 0909 1014 1111
1202 0113 0210 0309

2-7. その他会議等

□記者懇談会 0611 1202
□懇親会 0619 0120 ゴルフ 0926 0313

3-1. 対外交流

□関係諸団体との交流

- 0428 日本建設業連合会(ホテルニューオータニ)
- 0513 ロングライフビル推進協会(ロイヤルパークホテル)
- 0514 東京都建築材料試験連絡協議会(スクワール麹町)
- 0515 日本建築家協会関東甲信越支部(建築家会館)
- 0519 CIW検査業協会(東京會館)
- 0519 日本基礎建設協会(コートヤード・マリオット銀座東武ホテル)
- 0520 日本建築積算協会(メルパルク東京)
- 0521 プレストレスト・コンクリート建設業協会(ホテルグランドパーク半蔵門)
- 0526 建設広報協会(ルポール麹町)
- 0527 日本鉄筋継手協会(ルポール麹町)
- 0529 日本建築学会(建築会館ホール)
- 0530 日本建築積算協会(40周年記念大会)(横浜シホシア)
- 0601 東京都建築士事務所協会(京王プラザホテル)
- 0605 耐震総合安全機構(日中友好会館ホール)
- 0609 建築研究開発コンソーシアム(学生会館)
- 0610 東京建築士会(Txカフェ)
- 0611 日本免震構造協会(明治記念館)
- 0612 日本建築士会連合会(建築会館ホール)
- 0618 日本建築士事務所協会連合会
(コートヤード・マリオット銀座東武ホテル)
- 0624 建築設備技術者協会(明治記念館)
- 0715 日本コンクリート工学会(ホテルニューオータニ)
- 1203 CIW検査業協会(東京會館)
- 0106 日本建築学会(建築会館ホール)
- 0106 日本溶接協会(東京プリンスホテル)
- 0106 鉄骨建設業協会(東海大学校友会館)
- 0108 日本鋼構造協会(アーバンネット大手町ビル)
- 0108 日本鉄筋継手協会(ルポール麹町)
- 0111 総合資格(ハイアットリージェンシー東京)
- 0113 プレストレストコンクリート建設業協会(ホテルグランドパーク半蔵門)
- 0114 日本免震構造協会(明治記念館)
- 0115 全国鐵構工業協会(鉄鋼会館)
- 0122 日本設備設計事務所協会(如水会館)
- 0122 日本建築家協会関東甲信越支部(建築家会館)

□建築技術教育普及センター

- 「APEC建築エンジニア資格委員会」 大越俊男 太田雅昭 1404～1803
- 「EMFエンジニア資格委員会」 大越俊男 太田雅昭 1404～1803
- 「建築CPD運営会議」 福島正隆 山辺豊彦 0604～1803
- 「建築CPD運営会議プログラム審査会」 山田周平 0604～1603
- 仲山雅一 1604～
- 「大学院実務経験確認審査委員会」 金田勝徳 1212～
- 建築性能基準推進協会
- 「木造長期優良住宅の総合的検証委員会」 山辺豊彦 1210～
- 建築・住宅国際機構
- 「ISO/TC98/SC3/WG9対応WG」 小鹿紀英 1407～
- CIW検査業協会
- 「検査機関倫理委員会」 橋本康則 1205～
- 本波英樹 1405～
- 新・建築士制度普及協会／日本建築防災協会
- 「構造計算(ルート2)の審査に関する講習会運営委員会」
- 金箱温春 福島正隆 1403～1503
- 「同テキスト編集部」
- 福島正隆 山辺豊彦 1403～1503
- 「同準備会」 山辺豊彦 1403～1503
- 繊維補修補強協会
- 「繊維補修補強協会役員(顧問)」 伊藤 優 1106～1509
- 金田勝徳 1510～1709
- 全国鐵構工業協会+鉄骨建設業協会
- 「検査技術委員会」 福島正隆 0910～
- 「監理技術者審査委員会」 福島正隆 0910～
- 「建築鉄骨検査技術者製品試験委員会」 宮本 守 1504～
- 「同製品教育委員会」 福森 亨 1504～
- 鉄骨製作管理技術者登録機構
- 「審査委員会」 福島正隆 0910～
- 東京建築士会
- 「法規委員会」 木内達夫 1109～
- 「専攻建築士審査評議会」 山辺豊彦 福島正隆 0910～
- 東京都鉄骨加工工場登録制度推進機構
- 「審査委員会」 高橋 勇 1104～
- 東京都都市整備局
- 「耐震改修促進連絡会」 福島正隆 0910～
- 「耐震化推進都民会議」 福島正隆 0910～
- 「平成27年度安価で信頼できる木造住宅の耐震改修工法・装置の評価委員会」 大岡 彰 1509～1512
- 「平成26年度ビル・マンションの耐震改修事例評価委員会」 梅野 岳 1407～1503
- 東京都防災・建築まちづくりセンター
- 「耐震改修計画評定委員会」 横尾格美 1107～1706
- 加藤晋平 0311～1706
- 安部重孝 玉松健一郎 0512～1706
- 「鉄筋継手検査機関登録審査倫理委員会」
- 手塚純一 上之菌祐司 1409～1603
- 吉田 実 上之菌祐司 1604～
- 東京都建築材料試験連絡協議会
- 「倫理委員会」 内海 博 0806～

3-2. 他団体への委員等の推薦

- 国土交通省
- 「建築構造基準委員会」 金箱温春 1107～1506
- 森高英夫 1507～
- 国土交通省国土技術総合政策研究所
- 「長周期地震動対策検討WG」 伊藤 優 1107～
- 「災害拠点建築物の機能継続技術の開発検討WG(非構造壁WG)」 太田俊也 1308～1603
- 建築研究所
- 「研究評価委員会構造分科会」 金箱温春 1107～1509
- 森高英夫 1510～1709
- ベターリビング
- 「構造安全性評価委員会」 鵜田 隆 0508～

2015 年度事業報告書 3. 対外活動

- 「同専門委員会」 伊庭 孝 上之菌祐司 0806～
「コンクリート採取試験会社審査委員会」
大岡 彰 木下憲明 0912～
- 日本基礎建設協会・コンクリートパイル建設技術協会
「平成27年度「基礎施工士」検定試験委員会」
近藤豊史 1506～1606
- 日本建築学会
「構造委員会」 伊藤 優 0706～
「保有水平耐力計算規準対応小委員会」
鹿島 孝 蛭川利彦 1504～
浜田公也 1504～1509
寺田隆一 1509～
- 「積雪荷重小委員会」 小坂橋裕一 0101～
「壁式構造運営委員会」
岡部喜裕 網干眞一 小林光男 1308～
「産学連携建築教育連絡会議」 福島正隆 0910～
「木質構造運営委員会」 貞広 修 1004～1603
「低炭素社会推進会議」 東 清仁 1405～1506
大畑勝人 1507～
- 「鋼構造設計規準改定小委員会」 小野潤一郎 1601～
- 日本建築士会連合会
「五会認定資格懇談会」 山辺豊彦 福島正隆 1212～
- 日本建築積算協会
「建築コスト管理士評議委員会」 山辺豊彦 1504～
「建築積算士評議委員会」 福島正隆 1504～
- 日本建築センター
「評議員」 金箱温春 1107～1506
森高英夫 1506～
- 「技術的検査を行う第三者の推薦について」
山辺豊彦 0710～
小竹 晃 0801～
齋藤美佐男 0902～1508
園部隆夫 1604～
- 「(仮称)2016年版冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル
編集委員会」 伊藤 優 1512～1612
- 日本建築防災協会
「評議員」 金箱温春 1107～1603
森高英夫 1604～
- 「既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会」
福島正隆 0910～
- 「住宅等防災技術評価委員会」 白石 梢 0901～
「震災建築物の被災度区分判定及び復旧技術指針改訂委員
会」 福島正隆 1010～1503
- 「同木造WG」 白石 梢 1304～1503
「全国被災建築物応急危険度判定協議会」
福島正隆 0910～
- 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・耐震改修
設計指針改訂原案作成委員会」 金田勝徳 1306～
- 日本鋼構造協会
建築鉄骨品質管理機構
「運営会議」 金箱温春 1204～1603
森高英夫 1604～
- 「認定委員会」 福島正隆 0910～
「建築高力ボルト接合管理技術者専門委員会」
西尾啓一 9807～1603
- 「建築高力ボルト接合管理技術者実行委員会」
西尾啓一 9807～1603
- 「鉄骨工事管理責任者専門委員会」 高橋 勇 0704～
「鉄骨工事管理責任者実行委員会」 高橋 勇 0704～
「同テキスト作成小委員会」 高橋 勇 1304～
「鉄骨造建築物接合部ディテールの設計資料集の検討委員会」
伊藤 優 常木康弘 1404～
- 「同 検討WG」 渡辺 仁 1404～
「建築鉄骨溶接部の性能標準作成委員会」
伊藤 優 吉成 裕 1409～
「同WG」 吉成 裕 1506～
- 日本住宅・木材技術センター
「木造軸組工法住宅の許容応力度設計改訂委員会」
木林長仁 1406～
「CLT関連告示等解説書編集委員会」 木林長仁 1604～
- 日本鉄筋継手協会
「優良溶接せん断補強筋製造会社認定委員会」
中川 崇 太田俊也 1004～
「優良圧接会社認定委員会」 大岡 彰 1204～
「支部委員」 安田俊幸 八ツ賀英幸 二連木清
牧野章文 福本義之 大塚真裕 1004～
「鉄筋継手工事標準仕様書改訂委員会」 手塚純一 1603～
- 文化庁
「文化財建造物の耐震対策の在り方に関する協力者会議」
金箱温春 1410～
「同会議木造WG」 山辺豊彦 1410～
- 山梨県建築士事務所協会
「山梨県建築物耐震診断判定会」 世良耕作 9704～
- 横浜市
「公共建築物耐震工法検討委員会」 橋本康則 0704～1803